

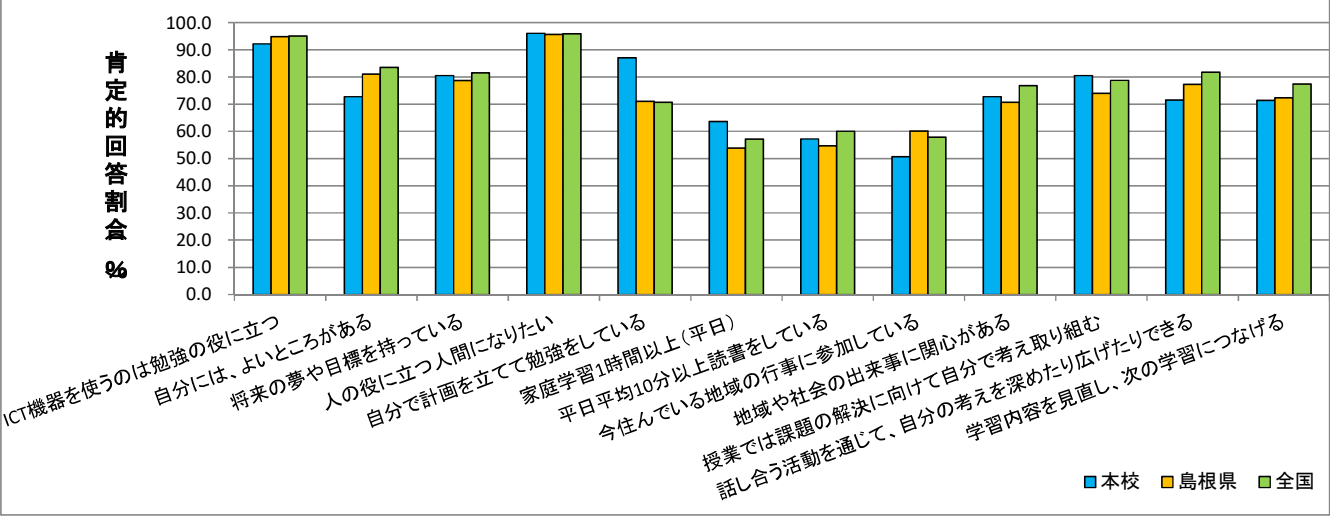
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○漢字や送り仮名を正しく使う力は全国平均を大きく上回っており、定期的に取り組んでいる漢字会で目標を設定し取り組むことの成果が感じられる。 ○スピーチ活動や対話により考えを深めていく授業を通して、自分の考えを伝える力が育ちつつある。 ●図表やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することにおいて、自分の考えを書き表す力が十分でない。 ●複数の資料を用いて、決められた条件でまとまりのある文章を書く力が十分でない。 ●問いの意図を把握して、適切に答える力が十分でない。	・グラフや表などの資料を読み取ってわかることを書く経験や、複数の条件の設定の中で文章を書いたり要約したりする経験を重ねていく。 ・社会科の授業と関連させたり年鑑の指導などを通して、データを読み取り活用する力を身に付けられるようにする。 ・他教科とも関連し、複数の資料を関連付けて考えていく経験を重ねていく。
算数	○毎月計算会を行うことで、目的に応じて数量の関係に着目して数の処理をする力が育ってきている。 ●図形の性質について理解し、それを用いて課題の解決に向けて説明していく力が十分でない。	・図形の意味や性質を基に構成の仕方について考える場を十分にもち、筋道を立てて説明できるようにしていく。

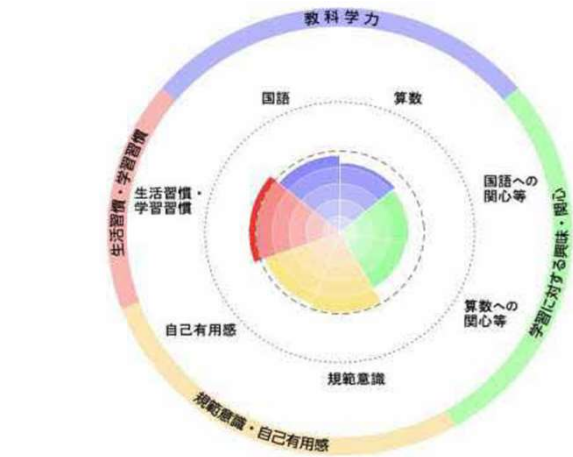
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○家庭学習に前向きに計画的に取り組んでいる。 ○話し合い活動に計画的に取り組むことで課題解決をする経験を積んできており、授業では課題に対して前向きに取り組んでいる。 ○友達や先生といった、周囲から認められているという意識はある。 ●話し合う活動の中で、自分の考えを深めたり広げたりできているという意識が低い。 ●自分の良さに気づいて、自分の強みにしようという意識が弱い。 ●読書に1日30分以上取り組んでいる児童の割合が30%と低く、読書の時間が十分に確保されていない。	・相手の意図を聞き取り、考えを深めていく場を十分に持つ。 ・一人一人の良いところを見つめ、認めていく。 ・学校での10分読書の時間に合わせて、家庭でも読書の時間を確保できるよう、メディアコントロールへの取り組みを継続していく。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・将来への希望をもち、目標を適切に設定して、伸びていく自分を実感できるように、生活の中でめあてや振り返りを重ねながら、行事への参加等で変革していく自己が見つけられるようにする。
・今年度から取り組んでいる低学年からの家庭読書の時間の確保やその取り組み方の工夫を継続して、読書に親しみをもち、楽しさを感じられるようにする。
・全員が授業へ参加し、対話により思考が深められる授業をおこなっていくことで、考える楽しさを感じ、学習に意欲的に取り組んでいくようにする。

【受検者数】

77 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。